

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員			
宮原 恵子・石橋 由香里			

講義概要	①現代の小児を取り巻く『食』の問題を理解する ②小児にとっての『栄養』の意義を理解する ③保育者が『小児栄養』を学ぶ意義を理解する ④『栄養』の意義を理解する ⑤栄養素とその機能を理解する ⑥食品とその栄養学的意義を理解する ⑦妊娠の成り立ちと妊娠に伴う母体の変化を理解する ⑧妊娠期の食生活の問題点を理解し、栄養・食生活の望ましい食生活の在り方を体験する ⑨乳幼児の栄養の特性を理解し、乳汁栄養・離乳栄養について体験する ⑩幼児期の栄養の特性について理解し、幼児食を体験する ⑪幼児期の食生活における問題点を理解する ⑫学童期の栄養の特性を理解する ⑬『食育』の目的を理解する ⑭保育現場での食育活動のありかたを考察する ⑮望ましい食育活動を計画し体験する
------	--

授業計画	1 子どもの食生活と栄養① 小児の栄養と食生活の意義、小児の発育・発達と栄養 学習課題 配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読 2 子どもの食生活と栄養② 栄養に関する基礎知識 学習課題 配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読 3 乳児期の食生活① 乳汁栄養、離乳食 学習課題 配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読 4 乳児期の食生活② 調理実習（調乳） 学習課題 配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読、調乳作業の復習 5 乳児期の食生活③ 調理実習（5・6か月児の離乳食） 学習課題 配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読、離乳食の調理ポイントの復習 6 乳児期の食生活④ 調理実習（7・8か月児の離乳食） 学習課題 配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読、離乳食の調理ポイントの復習 7 乳児期の食生活⑤ 調理実習（9～11か月児の離乳食） 学習課題 配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読、離乳食の調理ポイントの復習 8 乳児期の食生活⑥ 調理実習（12～18か月児の離乳食） 学習課題 配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読、離乳食の調理ポイントの復習 9 幼児期の食生活 幼児期の食機能、栄養・食生活上の問題 学習課題 配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読 10 学齢期・思春期の食生活、生涯発達と食生活 ライフステージによる食生活の特徴と違い 学習課題 配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読 11 特別な配慮を要する子どもの栄養 疾病や体調不良、アレルギー、障害をもつ小児の食生活とその対応 学習課題 配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読 12 家庭や児童福祉施設における食生活 児童福祉施設の特徴とその食生活、給食 学習課題 配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読 13 食育① 食育基本法、現場での取り組み 学習課題 配布プリントの確認とテキスト該当箇所の通読、レポート作成（食育計画） 14 食育② 調理実習（キッズクッキング）
------	---

	<p>1 5</p> <p>学習課題 食育活動に調理実習を取り組む際のポイントを復習 食育③ 調理実習 (キッズクッキング)</p> <p>学習課題 食育活動に調理実習を取り組む際のポイントを復習</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①乳児期から学童期、思春期、妊娠期の特性を説明することができる</p> <p>②基礎栄養学の知識を習得し、自信の食生活を見直すことができる</p> <p>③乳児期から学童期、思春期、妊娠期の特性と栄養を結び付け、考察することができる</p> <p>④乳児期から学童期の食事と、成人期の食事の違いを説明することができる</p> <p>⑤食育について理解し、保育現場での実践法を考察することができる</p>
教科書・参考書	テキスト：『新版 子どもの食生活 ー栄養・食育・保育ー』 上田玲子 編著 ななみ書房
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問等に対応します。
備考・メッセージ	【準備学習（自主学習）】 毎回、テキストの予習、配布資料の確認をし、調理実習前にはライフステージによる食事内容の違いを復習しておくこと。また、日ごろから栄養に興味をもち、講義内容の理解につなげるようにすること。